令和９年度（2027年度）名古屋市立大学大学院人間文化研究科

外国人研究生（４月入学）募集要項

１　募集人員

若干名　※志願者は、希望する教員に事前に出願について相談すること。

２　出願資格

次の（1）、（2）の両方に該当する日本の国籍を持たない者

（1）次のいずれかに該当する者

①日本の大学を卒業した者又は令和９年３月末日までに卒業見込みの者

②外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和９年３月末までに修了見込みの者

③外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの、又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和９年３月末までに授与される見込みの者

④本学人間文化研究科において、個別の入学資格審査により①、②、③と同等以上の学力があると認めた者で令和９年３月31日までに22歳に達する者

※上記④で出願しようとする者は、出願前に「10 出願資格(1)の④による個別の入学資格審査について」に従って審査を受けてください。

（2）次のいずれかに該当する者

①日本学生支援機構主催による日本語留学試験（EJU）の日本語で280点以上のスコア（記述、読解、聴解・聴読解の合計）を有している者
（ただし、2024年度１回目から2026年度１回目の試験に限る。）

②国際交流基金・日本国際教育支援協会主催による日本語能力試験（JLPT）のＮ１に合格している者
（ただし、2024年度１回目から2026年度１回目の試験に限る。）

※市川哲、江口啓子、梶浦眞由美、川本徹、髙坂博史、佐藤美弥、平田雅己、毛利雅子、山田翔太、吉永和加、アンドレア・カスティリョーニ、石川優、川戸貴史、椎名渉子、山田敦を指導教員として志望する場合は、上記の基準に達しない場合も出願可能

３　出願期間及び方法

出願期間	令和８年12月７日（月）～12月15（火）【必着】

※出願は郵送（書留速達）に限ります。窓口での受付は行いません。

・出願書類を送付の際は、必要事項を記入した本学所定の出願書類提出用封筒の表紙を角２号の封筒（ご自身でご用意ください）に貼り付け、書留速達で郵送ください。期限までに到着しなかった場合は、受理しません（期限内消印有効ではないので注意してください。）。本学所定の出願書類提出用封筒の表紙を使用しない場合は、封筒の表面左下部分に「人間文化研究科外国人研究生出願書類在中」と朱書きしてください。

・国外在住者が出願する場合であっても、国外からの郵送による出願書類の提出は認めません。必ず日本国内在住の代理人が出願手続きを行ってください。本学からの通知も代理人あてに行います。

・出願書類の受理後、受験票・受験案内を送付します。なお、試験日10日前までに受験票・受験案内が届かない場合は、「学生課　人間文化研究科担当（６ページ）」に照会してください。

４　出願書類等　注１

	書類等	摘要
①	入学願書 照合写真票 受験票	［本学所定用紙使用］ ・日本語で記載してください。ただし、氏名は漢字又は英文字により記載し、フリガナ欄にカタカナを表記してください。 ・写真は、正面、上半身、無帽、背景無し、カラー、縦４㎝×横３㎝、出願前３か月以内に撮影したものを貼付してください。 ・受信場所は、確実に連絡の取れるところを記入してください。 ・学歴は、初等教育（小学校相当）から記入し、大学等での研究生等、日本語学校又は専修学校等での在学歴があれば記入してください。 ・記入欄が不足する場合は、入学願書をコピーして使用すること（氏名欄を記入すること）もしくは別に添付（様式自由）すること。

②	卒業証明書 （卒業見込証明書） 注２、３、４	・在籍又は最終学歴の教育機関の長が作成したもの。コピーは不可。 ・大学院修了(見込)者は、その修了（見込）証明書も提出してください。コピーは不可。 ・日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください（原本のコピーに書き込むのは構いませんが、原本に直接書き込まないでください。）。
③	成績証明書 注２、３、４	・在籍又は最終学歴の教育機関の長が作成したもの。コピーは不可。 ・大学院修了(見込)者は、その成績証明書も提出してください。 ・日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください（原本のコピーに書き込むのは構いませんが、原本に直接書き込まないでください。）。
④	研究計画書	［本学所定用紙使用］ ・本学ウェブサイト入試情報の人間文化研究科ページ （https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/graduate/human/）より Excel ファイルまたは PDF ファイルをダウンロードのうえ、パソコン等を使って記入したものを提出してください。 （A4 用紙１枚、両面印刷） ・研究計画書（様式）の注意事項をよく確認して記載等を行ってください。 ・日本語で作成してください。
⑤	語学試験の 成績証明書 （日本留学試験の日本語または国際交流基金・日本国際教育支援協会主催による日本語能力試験の証明書） 注３	【日本留学試験（EJU)】 ・2024 年度１回目から 2026 年度１回目の間に受けた日本留学試験の日本語の「受験票または成績通知書のどちらかのコピー」又は、「EJU オンラインから印刷した成績確認書」を提出してください。 ・試験日に受験票または成績通知書の原本を持参してください。 【日本語能力試験（JLPT)】 ・2024 年度１回目から 2026 年度１回目の間に受けた日本語能力試験の「日本語能力試験 認定結果及び成績に関する証明書」（成績証明書）の原本を提出してください。
⑥	住民票	・外国籍の者で在留資格がある者は提出してください。 ・在留資格期間が短期の者は、パスポートに押された日本の査証の写しを提出してください。 ・国外在住者が出願する場合は、パスポートの写しを提出してください。 ※個人番号（マイナンバー）が省略された住民票を取得してください。取得した住民票に個人番号が記載されている場合は、油性ペンなどを使用して塗りつぶし、完全に見えない状態で提出してください。
⑦	希望指導教員との 連絡状況申告表	［本学所定用紙使用］ ・日本語で作成してください。
⑧	入学検定料等 納付証明書 （10,210 円）	・振込依頼書（本学所定のもの）を使用し、必要事項を記入の上、10,210 円（入学検定料 9,800 円＋受験票等送付のための速達郵便料金 410 円）を添えて銀行等で振込んでください（ゆうちょ銀行では取り扱いません。また ATM 等は使わず必ず窓口で振込んでください。）。 ・振込手数料は志願者本人負担となります。 ・銀行等から受け取った「検定料納付証明書（B 票)」を他の出願書類と一緒に提出してください。「振込金（兼手数料）受領書（A 票)」は入学志願者が保管してください。 ・原則として既納の入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は、納入された入学検定料を返還しますので、詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。 ①二重で振り込みをした場合 ②入学検定料等の振り込み後、出願書類を提出しなかった場合 （原本のコピーに書き込むのは構いませんが、出願が受理されなかった場合も含む。）
⑨	あて名用シール	［本学所定用紙使用］ ・返信先を明記してください。受験票等の送付及び合否の通知に使用しますので確実に受信できる住所、氏名を記入してください。
⑩	出願書類提出用封筒	・出願書類提出用封筒の表紙（本学所定のもの）に必要事項を記入してください。 自身で用意した角型２号の封筒に表紙を貼り付け、出願書類を封入し、学生課あて郵送してください。

注１　提出された出願書類等は返却しません。
注２　②、③について再発行ができない証明書は、出願時にコピーを提出し、原本は、試験日に試験会場へ必ず持参してください。

注３　卒業（見込）証明書、成績証明書及び語学試験の成績証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、改氏名したことを証明できる書類（原本）を合わせて提出してください。改氏名を証明できる書類の日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。（原本に直接書き込まないでください。）
注４　出願資格(1)の④による入学資格審査を受けた者は、出願の際②及び③の提出は必要ありません。

5　入学者選抜及び方法

(1) 期日・時間・科目

試　験　期　日	試　験　時　間	試　験　科　目
令和９年１月 31 日（日）	９：００～	口述試験（面接） 出願書類④の内容を中心に行います。

(2) 試験会場

名古屋市立大学滝子キャンパス　（名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑１）
詳細は、受験票とあわせて送付します。

6　合格発表

合格発表日	令和９年２月 18 日（木）

本人又は代理人あてに合否を通知します。２月 26 日（金）までに、結果が届かない場合は〔学生課 人間文化研究科担当〕までお問い合わせください。 ※学内掲示及び Web 掲載による発表は行いません。

7　入学手続

(1) 手続期日（予定）

手続期日（予定）	令和９年３月　初旬

(2) 手続方法

合格通知とあわせて、入学手続案内を本人又は代理人宛てに送付します。

(3) 入学手続に必要な経費

ア　入学料（現行）　名古屋市住民等　69,600 円
　　その他の者　99,600 円
イ　学生教育研究災害傷害保険料　1,000 円
注１　上記は令和８年４月入学者の金額です。令和９年度については改めて通知します。
注２　名古屋市住民等とは、入学者又は入学者の配偶者、若しくは１親等の親族が入学の日において同日の前から引き続き１年以上の期間、名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。
注３　入学料等は入学手続時までに金融機関で納入してください。既納の納付金は、返還しません。

8　授業料

年額　356,400 円（前期・後期分各　178,200 円）
注１　授業料は入学後、年２回（前期・後期）に分けて引落を実施します。
注２　上記は令和８年４月入学者の金額です。令和９年度については改めて通知します。
　　また、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定後の授業料を適用します。
注３　必要諸経費について別途徴収することがあります。

9　注意事項

(1) 出願書類等に不備がある場合は受理しません。
(2) 出願書類等に虚偽の記載した者は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
(3) 出願書類等は返却しません。
(4) 受信場所を変更した場合は、直ちに［学生課　人間文化研究科担当（６ページ)］に連絡してください。
(5) 障害等により、受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、下記の期間に［学生課　人間文化研究科担当（６ページ)］に申し出てください。

障害等配慮申請期間	令和８年 11 月９日（月）～11 月 13 日（金）［必着］

(6) 入学期日までに正規の入国手続を済ませることができない場合は、入学許可を取り消すことがあります。入国許可の詳細については、下記機関に問い合わせてください。

名古屋出入国在留管理局

〒455-8601　名古屋市港区正保町５丁目 18 番地
〔インフォメーションセンター〕　0570-013904（IP、海外:03-5796-7112）
〔留　学　審　査　部　門〕　0570-052259

10　＜出願資格＞(1)の④による個別の入学資格審査について

・＜出願資格＞(1)の④により出願する者は、個別資格審査申請期間内に[学生課　人間文化研究科担当]（６ページ）に届くよう、「資格審査願」、「履歴書」、「業績書」（いずれも本学所定用紙）並びに最終学歴の教育機関の長が作成した「卒業（見込）証明書」及び「成績証明書」を提出してください。日本語以外で記載された書類については、日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。
・すべての書類について原本を提出してください。ただし、再発行ができない書類については、資格審査願の申請時にコピーを提出し、原本は試験日に試験会場へ必ず持参してください。
・国外から申請する場合は、必ず日本国内在住の代理人が申請手続きを行ってください（外国からの郵送による申請は受付けしませんので注意してください。）。
なお、審査結果は終了後速やかに本人又は代理人あてに通知します。

個別資格審査申請期間	令和８年 11 月９日（月）～11 月 13 日（金）[必着]

※申請は郵送（書留速達）に限ります。窓口での受付は行いません。

11　個人情報の取扱い

個人情報については、名古屋市個人情報保護条例に基づいて、次のとおり取り扱います。

(1) 個人情報の利用

ア　出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うために使用します。

イ　入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を今後の入学者選抜及び大学院教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。（個人が特定できない形で行います。）

ウ　入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

(2) 業者への委託

上記（1）の各業務での利用にあたっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者に委託することがあります。

12　緊急時における大学からのお知らせ

災害の発生時など、緊急時の連絡及び本募集要項の内容を変更する必要が生じた場合には、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。また、受験者本人へ直接連絡する場合がありますので、出願書類には必ず連絡の取れる連絡先を記載してください。

本学ウェブサイト　　https://www.nagoya-cu.ac.jp/

大学院人間文化研究科　外国人研究生の概要

1　目的

人間文化研究科の博士前期課程に入学するために必要な基礎学力と日本語能力を身につけたいと考える外国人を研究生として受け入れるものです。

2　在学期間

１年（ただし、１回に限り１年以内の期間で延長が認められることがあります。）

3　カリキュラム

外国人研究生は、指導教員の下、各学期において次に掲げる人文社会学部の授業科目を受講します。

・指導教員が担当する演習（「専門演習」等）　１科目
・専門教育科目（集中講義科目を除く。）　６科目以上
合計７科目以上

4　教員　（指導教員を選ぶにあたり、参考にしてください。）

（令和８年度の内容は以下の通りです。ただし、令和９年度の内容は変更する場合があります。）

氏　　名	職　名	専　門　分　野	日本語資格要件※
天谷　祐子	准教授	発達心理学、教育心理学	1
アンドレア・カスティリョーニ	准教授	日本思想史	2
石川　優	准教授	ポピュラー文化研究・マンガ研究・文学理論	2
市川　哲	准教授	観光学	2
上田　敏丈	教　授	保育・幼児教育学	1
江口　啓子	准教授	日本文学	2
大石　真澄	講　師	メディア研究、エスノメソドロジー	1
岡部　真智子	准教授	社会福祉学、地域福祉、居住福祉	1
梶浦　眞由美	教　授	第二言語習得、英語教育	2
川戸　貴史	教　授	日本中世史・社会経済史・海域アジア史	2
川本　徹	准教授	アメリカ文学・映画	2
菊地　夏野	准教授	ジェンダー/セクシュアリティ研究	1
久保田　健市	教　授	社会心理学	1
髙坂　博史	講　師	国際政治学、国際関係史	2
古賀　弘之	教　授	音楽教育学	1
佐藤　美弥	准教授	文化資源学・日本近現代史	2
椎名　渉子	准教授	日本語学	2
杉浦　克哉	准教授	英語学、歴史的統語論、生成文法	1
杉山　有沙	准教授	憲法学	1
曽我　幸代	准教授	ＥＳＤ	1
谷口　由希子	准教授	社会福祉学・児童福祉論	1
布井　雅人	准教授	認知心理学	1
林　浩一郎	准教授	都市社会学	1

樋澤　吉彦	教　授	社会福祉援助技術研究	1
平田　雅己	准教授	現代アメリカの政治	2
前林　英貴	准教授	小児保健学、特別支援教育	1
松村　智史	准教授	社会保障論、社会福祉学、行政学	1
馬渡　玲欧	准教授	環境社会学、社会学史、社会理論	1
三浦　哲司	教　授	現代地方自治研究	1
宮下　さおり	教　授	労働社会学	1
毛利　雅子	教　授	異文化コミュニケーション	2
山田　敦	教　授	日本植民地社会経済史	2
山田　翔太	講　師	国際開発学、南アジア地域研究	2
山田　美香	教　授	比較教育学・教育史	1
吉田　輝美	教　授	高齢者福祉	1
吉永　和加	教　授	近現代フランス哲学、他者論	2
米川　和雄	准教授	スクールソーシャルワーク論、精神保健福祉学、福祉心理学	1
渡部　朗子	准教授	民事法学	1

※　日本語資格要件について
　1は日本語能力試験（JLPT）N1あるいは日本留学試験（EJU）「日本語」280点以上を有する者に限ります。
　2は1の基準に達しない場合も出願可能です。
注　出願に際しては、事前に各教員の研究内容等を人間文化研究科のウェブサイト又は名古屋市立大学研究者データベース（大学院人間文化研究科）で確認の上、指導を希望する教員に連絡し、研究内容等について相談してください。

人間文化研究科のウェブサイト　https://www.nagoya-cu.ac.jp/human/
名古屋市立大学研究者データベース（大学院人間文化研究科）　https://nrd.nagoya-cu.ac.jp/search/index.html
※上記ウェブサイトに連絡先が掲載されていない教員については、名古屋市立大学山の畑事務課　人間文化研究科担当（TEL：052-872-5808）にお問い合わせください。

出願書類郵送先・入学等に関する照会先
〒467-8601　名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
名古屋市立大学　学生課　人間文化研究科担当
電話　052-853-8020　　FAX　052-841-7428
メールアドレス　shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp（日本語による対応になります）

【敷地内全面禁煙について】
本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにも、この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。